



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	19,664	△1.1	1,200	50.3	1,384	93.8	859	236.7
28年6月期第2四半期	19,888	2.6	798	5.3	714	△15.9	255	△57.0

(注)包括利益 29年6月期第2四半期 731百万円 (127.8%) 28年6月期第2四半期 321百万円 (△67.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	46.49	—
28年6月期第2四半期	13.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	28,380		10,163		35.8		549.73	
28年6月期	23,935		9,542		39.9		516.18	

(参考)自己資本 29年6月期第2四半期 10,163百万円 28年6月期 9,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	4.2	1,300	62.8	1,300	167.8	600	140.6	32.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	18,590,000 株	28年6月期	18,590,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	102,388 株	28年6月期	102,888 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	18,487,255 株	28年6月期2Q	18,519,683 株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(29年6月期2Q 37,500株、28年6月期 38,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておらず(29年6月期2Q 37,857株、28年6月期2Q 5,429株)。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果により、緩やかな回復基調にあるものの、新興国の景気減速の懸念やイギリスのEU離脱問題など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、生活防衛意識による節約志向や低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高196億64百万円（前年同四半期比2億24百万円（1.1%）の減少）、営業利益は12億円（前年同四半期比4億1百万円（50.3%）の増加）、経常利益は13億84百万円（前年同四半期比6億70百万円（93.8%）の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億59百万円（前年同四半期比6億4百万円（236.7%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、7月にうなぎの蒲焼きをイメージした「うなる美味しさうな次郎」を発売し、ご好評をいただきましたが、9月の気温が平年より高く、残暑が長引いたことにより「揚物」・「竹輪」商品群が軟調に推移し、売上面においては前年同四半期を下回る結果となりました。

利益面におきましては、為替の影響等もあり原材料やエネルギーコストが低減したことに加え、効率化・合理化などのコスト削減に努めたことより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は172億30百万円（前年同四半期比1億89百万円（1.1%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は8億99百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）5億30百万円）となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、夏から初秋にかけて全国的に高温が続き、野菜及びきのこ市場相場は低迷いたしました。秋以降は天候不順の影響もあり、野菜市場相場は高騰し、きのこ市場相場も堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、安定生産・品質向上に努め継続的に販売を強化してまいりましたが、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は21億83百万円（前年同四半期比44百万円（2.0%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は1億93百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）1億98百万円）となりました。

③ その他

(運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え、物流機能の効率化に努めた結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、入庫量が低調に推移したことにより荷役料収入が減少し、売上高は前年同四半期を下回ったものの、倉庫管理業務の効率化に努めた結果、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は2億50百万円（前年同四半期比9百万円（3.9%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）68百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は110億14百万円（前連結会計年度末比46億84百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は173億65百万円（前連結会計年度末比2億39百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は132億40百万円（前連結会計年度末比47億26百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は49億76百万円（前連結会計年度末比9億2百万円の減少）となりました。これは主に社債及び長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払等により101億63百万円（前連結会計年度末比6億20百万円の増加）となり、自己資本比率は、季節的要因による流動資産の増加により総資産が増加したため、前連結会計年度末の39.9%から35.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月5日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,539	1,200,217
売掛金	2,626,155	6,675,185
商品及び製品	622,472	519,802
仕掛品	597,832	393,459
原材料及び貯蔵品	1,478,574	1,873,359
その他	144,014	354,291
貸倒引当金	△568	△2,000
流動資産合計	6,330,021	11,014,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781,913	6,611,527
機械装置及び運搬具(純額)	3,294,855	3,169,931
工具、器具及び備品(純額)	135,391	173,667
土地	3,296,749	3,294,696
リース資産(純額)	210,419	200,829
建設仮勘定	53,732	29,910
有形固定資産合計	13,773,061	13,480,563
無形固定資産		
投資その他の資産	340,672	347,539
投資有価証券	2,705,023	2,783,311
その他	810,845	778,974
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,491,369	3,537,786
固定資産合計	17,605,103	17,365,890
資産合計	23,935,124	28,380,204
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,181	2,946,679
短期借入金	3,777,972	6,416,542
未払法人税等	363,148	601,241
賞与引当金	60,100	63,439
未払金及び未払費用	1,374,024	2,052,815
その他	1,084,147	1,159,836
流動負債合計	8,513,573	13,240,554
固定負債		
社債	1,760,000	1,467,500
長期借入金	3,091,333	2,482,167
役員退職慰労引当金	52,554	54,794
役員株式給付引当金	10,613	26,409
繰延税金負債	551,335	544,615
その他	413,010	400,950
固定負債合計	5,878,846	4,976,435
負債合計	14,392,420	18,216,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,556,475	7,304,706
自己株式	△57,732	△57,179
株主資本合計	8,088,743	8,837,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,164,404	1,243,253
為替換算調整勘定	289,556	82,433
その他の包括利益累計額合計	1,453,960	1,325,687
純資産合計	9,542,704	10,163,214
負債純資産合計	23,935,124	28,380,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	19,888,445	19,664,418
売上原価	15,051,960	14,456,354
売上総利益	4,836,484	5,208,063
販売費及び一般管理費	4,037,602	4,007,202
営業利益	798,882	1,200,860
営業外収益		
受取利息	266	158
受取配当金	14,614	14,423
受取賃貸料	6,651	8,964
受取手数料	6,268	17,558
売電収入	11,219	11,457
為替差益	—	166,480
雑収入	18,867	29,309
営業外収益合計	57,887	248,353
営業外費用		
支払利息	56,930	40,073
為替差損	68,162	—
持分法による投資損失	4,232	19,277
雑損失	13,116	5,453
営業外費用合計	142,442	64,805
経常利益	714,327	1,384,408
特別利益		
固定資産売却益	8,156	1,443
投資有価証券売却益	30,305	—
受取賠償金	550	—
補助金収入	48,034	—
特別利益合計	87,047	1,443
特別損失		
固定資産除却損	3,251	1,162
固定資産売却損	1,658	487
減損損失	260,181	—
特別損失合計	265,091	1,649
税金等調整前四半期純利益	536,284	1,384,202
法人税、住民税及び事業税	417,208	570,934
法人税等調整額	△136,172	△46,114
法人税等合計	281,036	524,820
四半期純利益	255,247	859,381
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,247	859,381

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	255,247	859,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,996	78,849
為替換算調整勘定	14,767	△217,871
持分法適用会社に対する持分相当額	—	10,748
その他の包括利益合計	65,763	△128,273
四半期包括利益	321,011	731,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,011	731,108
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	536,284	1,384,202
減価償却費	743,100	686,972
減損損失	260,181	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,508	1,432
賞与引当金の増減額(△は減少)	967	3,339
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,970	2,240
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,516	15,795
受取利息及び受取配当金	△14,881	△14,582
支払利息	56,930	40,073
為替差損益(△は益)	62,630	△167,208
持分法による投資損益(△は益)	4,232	19,277
投資有価証券売却損益(△は益)	△30,305	—
固定資産売却損益(△は益)	△6,498	△955
固定資産除却損	3,251	1,162
売上債権の増減額(△は増加)	△4,067,591	△4,164,298
たな卸資産の増減額(△は増加)	△211,723	△90,520
仕入債務の増減額(△は減少)	1,441,775	1,294,809
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	643,113	671,001
受取賠償金	△550	—
その他	△177,174	5,073
小計	△737,263	△312,185
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△197,540	△358,110
賠償金の受取額	550	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△934,253	△670,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	99,994	△357,285
有形固定資産の取得による支出	△366,803	△534,398
有形固定資産の売却による収入	26,309	7,205
無形固定資産の取得による支出	△220	△576
投資有価証券の取得による支出	△2,948	△2,888
投資有価証券の売却による収入	93,364	—
関係会社株式の取得による支出	△161,257	—
利息及び配当金の受取額	14,886	14,584
その他	452	△6,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,222	△879,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,670,000	2,710,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△828,904	△680,596
社債の償還による支出	△842,500	△342,500
利息の支払額	△59,888	△40,603
配当金の支払額	△138,938	△111,150
その他	△63,335	△37,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,036,433	1,497,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,043	33,487
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192,998	△18,607
現金及び現金同等物の期首残高	1,078,757	828,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	885,759	809,731

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,419,407	2,227,473	19,646,881	241,564	19,888,445	—	19,888,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,332,052	1,332,052	△1,332,052	—
計	17,419,407	2,227,473	19,646,881	1,573,617	21,220,498	△1,332,052	19,888,445
セグメント利益	530,888	198,130	729,019	68,725	797,745	1,137	798,882

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額1,137千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「きのこ事業」セグメントにおいて、260,181千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,230,107	2,183,327	19,413,434	250,983	19,664,418	—	19,664,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,356,219	1,356,219	△1,356,219	—
計	17,230,107	2,183,327	19,413,434	1,607,202	21,020,637	△1,356,219	19,664,418
セグメント利益	899,560	193,043	1,092,604	105,052	1,197,656	3,203	1,200,860

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額3,203千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。